

平成 27 年度事業計画書  
フリーダム創生（多機能事業）

## 従業員等の人数

管理者	1名	サービス管理責任	1名		
職業指導員	1名	就労支援員	1名	生活支援員	1名（非常勤）

## 利用者の人数

身体障害者	2名	知的障害者	0名
精神障害者	0名	計	2名

## 【運営目標】

平成27年度の事業目標として引き続き利用者の確保をし、職員の障害者の就労に対する意識と一般就労へこだわりを強めます。

パソコン特殊ソフト（イラストレーター・フォトショップ等）の習得に力を入れ、チラシ・ポスター・名刺等の印刷業務を家庭用の物から業務用に移行し、一般就労でも活用できるようにします。

## 【利用者の日々の訓練、業務について】

訓練内容に関しましては、街頭販売、基本的・応用・特殊なパソコンの操作、ビジネスマナー研修を中心に訓練し、単純作業・内職等の訓練を強化します。

手足や体幹等の機能訓練、納期を守って仕事をするという事も兼ねて実施したいと考えております。そしてこれらの事を含め利用者の給料のアップを図りたいと思います。

## 【就職活動について】

就職活動に関しては、外部の集団面接会に参加し、ハローワークとの連携を強化したいと考えています。もちろん個別に就職活動に関する相談支援も行いますが、課題として重度の障害者をどのように就職させるかということが挙げられます。一例を挙げると排泄の問題で就職できないということもあります。

また、知的障害者や精神障害者の方には、就職への意識を高めて生活のリズムを整えるよう指導し、就職活動に負けないようにメンタルもサポートしていきます。「将来の自分のため」であることを常に心に留めていただき、支援を行います。

## 【就職先について】

平成26年度は排泄問題の中で就労支援事業A型を就職先とし活動してきましたが、障害福祉サービスの一環で介護提供をして下さると思っていたのですが、同性介護の問題や身体的な介護に時間をかけてられない事が原因であきらめる場面もありました。

就労継続事業A型事業所への移行は2名の実績を上げましたが、この4月から、就労継続事業A型事業所への移行は一般就労に値しないという問題が起こりました。とはいえ一般就労へのこだわりも強化していきますが、個々の利用者に合った仕事を見つけていきたいと考えます。

就労移行事業は2年で訓練を終了し、社会に出ることを義務付けられた事業です。あまりにも短い期間ではありますが、職員一同、利用者さんの就労のために、全力を尽くしたいと考えております。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

## 従業員数

管理者	1名
サービス管理責任者	1名
職業指導員	3名
生活支援員	1名

## 利用者数（定員30名）

身体障害者	12名（脳性マヒ8名 視覚障害4名）
知的障害	10名
精神障害	3名
計	25名
	身体と知的の重複障害8名

4月1日より支援学校新卒者2名と一般入所1名が入所されます。  
合計28名で新年度を迎えます。

## 【運営目標】

27年度の目標としましては、一人ひとりの持っている能力を活かし作業に対する意欲を高め、生活面でも充実感を感じることができるようサポートをしていきたいと考えます。

特に就労継続B型は、一人一人が当事業所に仕事に来ているのだ！という心構えで通所し、与えられた仕事は最後までがんばる！という姿勢を育てていきます。

それぞれが、自分の仕事の内容をよく理解し、途中であきらめずにやり遂げることができるように、仕事の厳しさ、難しさをできるだけ伝えていきたいと考えます。

就労にあたって必要な、仕事に対する姿勢や心構えを、研修やミーティング等で課題にあげて話し合っていきます。

現在 商品の売れ行きも良く、クッキーの生産量を増やす必要もあり一人ひとりが作業に対して、意欲を持って取り組める様に努めます。

また、個別のアセスメントや相談支援を用いて、生活面や心のケアの手助けをできる限りしていきたいと考えます。

## 【販売計画】

通常の販売に加え、販路拡大のための営業をしていきます。

スタッフ、利用者の出身校や縁故にも頼り、全く新規の飛び込みや営業で高齢者施設などへ行くことも計画し、定期販売先を開拓していきます。

商品は、通常のカッキーに加え、行事用として、結婚式用プレゼントカッキー、催事用ウエルカムカッキー、卒業記念カッキー、ミックスカッキーなど、時々に応じた注文に応じれるように、ホームページやフェイスブックに商品の見本やシールのデザイン例を載せて、注文の獲得に努めます。

商品開発では、前年度計画した抹茶商品は仕入れと販売のバランスを考え、成功しませんでした。これからは新しい味の開発は、売上向上のための課題としてとらえ、スタッフ一同で考えていきます。

## 【就労支援】

就労につきましては、未だ至っておりませんが、B型には就労移行支援を経験した方も多く、B型からの直接の就労も考えていかねばなりません。

色々な方面から情報を得て、また共有して、より良き結果が得られるよう働きかけていきたいと考えます。

### 平成 26 年度の売り上げ状況と 27 年度の売り上げ目標

今年の目標として 13120000 円を掲げておりましたが、27 年 2 月末までの計上で既に、約 13490000 円を売り上げ、あと ひと月を残した状態で、目標を達成することができました。

そのうち、淀川キリスト教病院様への納品は、毎月約 250000 円の売り上げを続けています。

現在、製造製品の販売が特に好調であります。仕入れ商品の駄菓子につきましても毎月、仕入れた量数を残すことなく、販売しております。

カレンダーの販売では、今年も、大同生命様、ロータリークラブ様に多大なご協力を戴き、大きな売り上げを上げることができましたが、より良き製品を作り、顧客様に甘えることなく、他の販売先の拡大も見据える必要があると考えます。

上記に鑑みまして、製造製品販売収入を 15000000 円計上します。

仕入れ製品販売事業収入は、500000 円を計上し、受託事業収入（生活介護・就労移行支援）は前年度と同じく 300000 円を計上しまして、合計 15800000 円を 27 年度の売り上げ目標として、予算に計上いたします。

### 平成 25 年 4 月～平成 26 年 2 月までと 平成 26 年 4 月～平成 27 年 2 月までの販売個数の比較

商品種類	平成 25 年度	平成 26 年度	差 異
パ ン	16177 個	26968 個	+10791 個
クッキー	17362 個	20386 個	+3042 個
ケーキ	856 個	443 個	+413 個
カレンダ ー	1428 部	1225 部	△203 部
駄菓子	660 袋	971 袋	+311 袋
傘	3358 本	1941 本	△1417 本

## 従業員数

管理者	1名
サービス管理責任者	1名
生活支援員	12名
看護職員	1名

## 利用者数（定員 20名）

身体障害者	17名（脳性マヒ 17名）
知的障害	6名
計 23名	身体と知的の重複障害 6名

## 【運営目標】

生活介護事業、シオンの家においては、利用者様個々の尊厳をまもり、昨年同様安全に配慮し、これまでどおり言葉の暴力や虐待などのない安心した日常生活を送っていただけることを目標とします。

食事介護・排泄・創作的活動・街頭販売・外出訓練等あらゆる場において適切な支援が出来るようスタッフは日々、研鑽していきます。

毎週火曜日にサービス担当者会議を行い、情報を共有し問題があればしっかり話し合い解決をめざします。

毎日のバイタルチェック（血圧・体温・脈拍・様子観察）をし、看護職員のチェックを受けています。月2回の理学療法士によるリハビリテーション、月1回の医師による診察を行い、健康管理につとめます。

## 【日常生活】

スタッフ・利用者様共に朝の挨拶から始まり、笑顔を忘れず、挨拶で終わる1日を過ごします。

利用者様・スタッフとも丁寧な言葉遣いが出来るように努力します。

カレンダー素材となる紙ちぎりを主に、駄菓子ラッピング、街頭販売を行っていきます。

紙ちぎりと共に内職作業も時々行っています。

利用者様にとっても、仕事上でよい気分転換になっています。

そしてなによりも生活介護は街頭販売によってたくさんの人々から元気を頂き、笑顔と活力の源になっています。私たち作業所の明るさと元気・頑張り、は、街頭販売にあるといっても過言ではありません。

外に出て季節の移り変わりを肌で感じ、いろんな方々と直に触れ合うこと、これらは私たちの大きな財産になっています。

## 【今後の課題】

生活介護は、車イスの方主体で現在17台の利用者様、6人の歩ける利用者様で部屋がいっぱいです。施設すべてを活用して安全で効率のよい作業が出来るよう発想の転換が必要です。

前年度の課題である、家族様とのコミュニケーションの一端として「シオンの1年」という17分位のDVDを作成しました。

家族様にも見ていただいて日々の様子を知る助けになればと思います。

今後もしろんな方法で作業所の様子を発信していきたいと考えます。

日々の作業と共に作業所で行われる数々の行事や外出訓練に積極的に参加し、日常生活の変化を楽しみ、

また日々の作業に意欲的に取り組めるようにします

日常での生活を基本にスタッフ一同、全力を尽くし日々がんばっていきます。